

三展同時開催

土門拳

DOMON KEN



こどもたち

阿波踊り・こども連



日本の美

小牧のつつじ



日本の仏像

聖林寺十一面観音立像

2020年

4月8日(水)～5月31日(日)

開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料／一般700円(550円)、高校生350円(280円)、中学生以下無料

()内は団体料金(20名以上)

年間券(1年間有効)随時受付、特典あり

普通年間券(3名まで入館可) 3,000円

特別年間券(10名まで入館可) 15,000円

会期中
無休

イベント 4月29日(水・祝)

拳ちゃんこどもまつり

Ken Domon Museum of Photography

土門拳記念館

山形県酒田市飯森山2丁目13(飯森山公園内)

TEL/FAX 0234-31-0028

<http://www.domonken-kinenkan.jp/>



日本の仏像

土門と仏像の初めての出会いは、奈良の室生寺でした。その一度の室生寺行によって土門は一大決心し、「日本中の仏像という仏像を撮れば、日本の歴史も、文化も、そして日本人をも理解できる」と考え、その後40年以上にもわたる長い仏像撮影の旅が始まります。個性豊かな仏像の表情や細部にまでレンズを向けて撮影された作品は、平成3(1991)年、『日本の仏像』として一冊の写真集に結実しました。



法隆寺西院金堂四天王立像のうち広目天像

日本の美

昭和40(1965)年から昭和56(1981)年にかけて、伊藤ハムの広報誌「躍進」に土門の写真と文章が連載されました。誌面では土門が写しとめた四季の風景、古寺のたたずまい、そして工芸品など多くの作品を取り上げており、土門はそのすべてが「未来永劫につながる生の証しである」としています。土門の審美眼によって選り抜かれた“日本の美”をご覧ください。



白壁の影

こどもたち

こどもは社会を映す鏡です。写真家・土門拳はこどもたちの笑顔や涙、そしてけなげに、たくましく生きる日常の姿を多く撮影しました。決して豊かではなかったけれど、路地裏や道端に集まって遊び、貧しくても元気いっばいなこどもたちが町にあふれていた時代。思わず当時が懐かしくなってしまう作品たちです。



子犬を持つ子

DOMON

三展同時開催

土門拳

土門拳記念館展示情報 2020

2020年4月8日(水)～5月31日(日)

主要展示室

日本の仏像

カラー・モノクロ 108点

土門と仏像の初めての出会いは、奈良の室生寺でした。その一度の室生寺行によって土門は一大決心し、「日本中の仏像という仏像を撮れば、日本の歴史も、文化も、そして日本人をも理解できる」と考え、その後40年以上にもわたる長い仏像撮影の旅が始まります。個性豊かな仏像の表情や細部にまでレンズを向けて撮影された作品は、平成3(1991)年、『日本の仏像』として一冊の写真集に結実しました。

企画展示室Ⅰ

日本の美

カラー 31点

昭和40(1965)年から昭和56(1981)年にかけて、伊藤ハムの広報誌「躍進」に土門の写真と文章が連載されました。誌面では土門が写しとめた四季の風景、古寺のたたずまい、そして工芸品など多くの作品を取り上げており、土門はそのすべてが「未来永劫につながる生の証しである」としています。土門の審美眼によって選り抜かれた“日本の美”をご覧ください。

企画展示室Ⅱ

こどもたち

モノクロ 31点

こどもは社会を映す鏡です。写真家・土門拳はこどもたちの笑顔や涙、そしてけなげに、たくましく生きる日常の姿を多く撮影しました。決して豊かではなかったけれど、路地裏や道端に集まって遊び、貧しくても元気いっぱいなこどもたちが町にあふれていた時代。思わず当時が懐かしくなってしまう作品たちです。

土門拳記念館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山二丁目13番地(飯森山公園内)

TEL/FAX: 0234-31-0028 <http://www.domonken-kinenkan.jp/>